



石狩医師会
福島医院

福島 啓

今年4月、石狩市内に道の駅ができました。道の駅石狩「あいろ一ど厚田」という全道で120番目の道の駅。厚田にあるので市役所のある花川地区からは約35km、車で40分ほどの場所になります。札幌の北区からでも1時間ほどです。オープン当初GW中はかなりの賑わいで、駐車場待ちで2時間以上になるなど大混乱だったと聞いています。その後も週末はかなりの人出だったようで、メディアで紹介されているところを目にした方も多かったのではないのでしょうか。地元民の私はなかなか足が向かずに、6月後半になってようやく行ってきました。こじんまりした道の駅ですが、今時の設計で、道の駅としての休憩場所の機能に加え、食事ができたり地域のお土産が買えたり、地域の歴史を知る展示があったり、なかなか頑張っているなというのが率直な感想です。周辺も含めると、厚田港朝市や恋人の聖地としても知られる厚田公園展望台があり、魅力のある場所です。以前あった「あいロード夕日の丘」は、「道の駅ANNEX」と名前を変えています。札幌方面から国道231号線を北上する場所にあるので、時間に余裕があれば、厚田から浜益、雄冬岬、増毛と続くオロロンラインの美しい景色もお勧めです。海岸線はとても美しく、キラキラした太陽を浴びる海の輝きはもちろんのこと、日本海に沈む夕日を眺める時間帯どちらも捨てがたいです。

全道各地にある道の駅、今年は厚田に加え、七飯町と美瑛町白金にもできて、全部で122ヵ所になりました。そんな道の駅をめぐりドライブを楽しまれる方も多いと思います。1冊200円のスタンプ帳を買って1年間に集めたスタンプの数によって特産品を応募でき、さらには1年もしくは2年間で道内全ての道の駅を回りスタンプを集めると完全制覇の賞状やステッカーがもらえます。なんと年間2千人以上も完全制覇をしていると聞きます。各地の観光を兼ねて楽しめる方も多いでしょうが、回ることを目的にする人もいます。参加の仕方は人によりさまざまですが、せっかく回るなら無理をせず楽しく行きたいと思いますし、なるべく効率的に無駄なく回りたと思うと一筆書きのコースを辿りたいところですが、駅数が増えた現在ではなかなかうまく行きません。そして、その時々交通事情で計画通りにいかないときのルートの修正も多々発生しますが、

どの道の駅を残すかというのが後々とても大事になってきます。このようなスタンプラリーの話をする、「そんなの何が楽しいの?」と言われてしまいます。毎年同じ場所を回ってもその時々でルートが違ったり、季節によって景色が変わる魅力があったり、オフシーズンといわれる時期にも心に残る風景が見られることも多いです。

私が最初にスタンプ帳を手にしてから20年。最初は出かけた場所に道の駅があれば寄ってスタンプを押すだけでしたが、2002年に最初の完全制覇を果たしました。当時は70駅。今より50駅も少ない時代でしたがとても達成感があり、当時の感動は今でも覚えています。その後、スタンプラリーの魅力に取りつかれ、毎年のように出かけ、何回も賞状とステッカーをもらいましたが、今のところ6年前の114ヵ所の時代が最後です。

これまで訪れた道の駅やその周辺エリアはどこも魅力的ですが、思い出に残る所をいくつか紹介したいと思います。内浦湾がきらきら輝いてしばらく見入ってしまった「あぶた」(洞爺湖町)、心地よい風に吹かれながら眺める江差方面の海岸線が美しい「上ノ国もんじゅ」(上ノ国町)、真夏の日本海を望む景色をまた見たいと思った「ルート229元和台」(乙部町)、白鳥大橋の夜景がきれいな「みたら室蘭」(室蘭市)、屈斜路湖を見下ろす眺めが忘れられない「ぐるっとパノラマ美幌峠」(美幌町)など景色が良いところもあれば、早朝に立ち寄ったときの澄んだ空気や小鳥のさえずりが印象的だった「しらたき」(遠軽町奥白滝)、山の中にありとても静かな「ピンネシリ」(中頓別町)、遠くまでよく来たなあとほっと一息つける場所として「うとろ・シリエトク」(斜里町ウトロ)や「知床・らうす」(羅臼町)など。休憩場所として利用することの多い「おんねゆ温泉」(北見市留辺蘂)や「まるせっぷ」(遠軽町丸瀬布)、「絵本の里けんぶち」(剣淵町)は自分にとって立ち寄りやすい場所なのだと思います。スタンプ帳を見ながら思い出すとまた回りたくなります。毎年春になると近場の道の駅でスタンプ帳を入手しては各方面のドライブルートを考えてしまいますが、なかなか時間が取れず、ここ数年はドライブに出ることも少なくなっていました。次に回れるのはいつになるやら…。

厚田の道の駅紹介からかなり脱線してしまいましたが、スタンプラリーという道の駅めぐりの楽しみ方を紹介しました。次の休日に身近な道の駅があれば、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。